

国際化学肥料ニュース (2013年6月)

肥料業界の2013年6月動態

- * 6月の尿素国際価格が急落して、6月末のFOB価格は5月上旬に比べて、約30ドル/トン(8%)安くなった。原因はインドMMTC社が6月3日に開札された尿素の入札結果である。MMTC社の尿素入札に各国から応札した尿素量が419~457万トンで、その中にCFR334ドル/トン以下の応札数量が150.5万トンであった。最安値がSwissingaporeのCFR331.5ドル/トンのイラン産尿素で、FOB価格換算では311.7ドル/トンであった。また、インドSTC社の6月22日に開札された尿素入札の結果は、CFR最安値の入札価格が303.33ドル/トンであった。それに連ねて、各輸出国の価格が急落した。7月1日現在、FOB300ドル/トンの見積りが散見した。
- * 尿素価格下落のもう一つの要因は尿素新規プラントの生産開始が相次いでいる。中国を除き、アルジェリアSorfert社は7月中旬に120万トン/年大粒尿素の生産ラインが稼働する。イランの尿素新工場1ヶ所が7月1日に生産開始、毎月の尿素輸出可能数量が28万トンに増加する見込みである。また、イランRazi社も120万トン/年の生産ラインが10月から稼働し始める。カタールQafco社の尿素工場が順調に稼働して、毎月の大粒尿素35万トン、小粒尿素6万トンを生産している。アラビア首長国Fertil社の第2尿素工場は7月から完全稼働になり、毎月約16万トン尿素を輸出することができる。しかも、7月1日から中国産尿素が非需要期輸出関税が適用され、大量の中国尿素が一斉に国際市場に投入される。予測では、11月までに尿素の国際価格が300~320ドル/トンに低迷するだろう。
- * 尿素生産コストを試算した結果がある。中東と北アフリカのメーカーは原料が油田副生ガスであるため、生産コストが100~150ドル/トンである。これに対して、ロシアやウクライナは原料が天然ガスなので、生産コストは240~295ドル/トン、中国は石炭原料で、生産コストが250~290ドル/トンと言われる。従って、尿素価格が250ドル/トン以下に下がれば、中国からの輸出が不可能になり、ロシアなど東欧諸国が生産ラインを休止することもある。

- * パキスタン TCP 社が 6 月 5 日に締め切った 5 万トン尿素の入札が Trammo 社が CFR337.17 ドル/トンの価格で落札した。インドの尿素応札の流れを受けて、尿素の価格低下が避けられない。パキスタン政府が今回の入札に補助金 33 億ルピーを支払った。また、6 月末にさらに 30 億ルピーの補助金を拠出する予定。
- * 先月アメリカシカゴで開かれた IFA の会議において、2013 年インドの加里市場が注目された。今年インドの加里肥料輸入量が 430 万トンになり、2012 年の 350 万トンより 22.8%増え、中国に代わって最大の加里肥料輸入国になると予測される。
- * ロシア政府統計局から発表されたデータによれば、今年 1~4 月、ロシア化学肥料生産量が 600 万トン、昨年同期より 0.8%減。内訳はりん酸肥料 106 万トン (5.6%減)、加里肥料 203 万トン (2.9%減)、窒素肥料 290 万トン (2.7%増)。4 月化学肥料生産量 150 万トン (10.9%減)
- * ロシア Uralkali 社長は、2014 年 1 月にインドとの間に新年度の加里肥料供給契約を締結するだろう。また、中国との今年下半期の契約は 10 月ごろに締結する見込み、上期の契約価格と同価格だろう。もし、予定通りに契約できたら、Uralkali の今年度加里肥料生産量が 1000 万トンを達成できるだろうと述べた。

大手各社の営業業績

- * ロシア acron 社は 2013 年第 1 四半期の業績を公表した。売上高 5.45 億ドル (昨年同期より 10%減、以下同)、純利益 1.47 億ドル (54%減)。
- * ドイツ K+S 社は 2013 第 1 四半期の業績を公表した。売上高 12.8 億ユーロ (昨年同期より 18.5%増、以下同)、営業利益 2.779 億ユーロ (12.2%増)、純利益 1.875 億ユーロ (11.3%減)。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * モロッコは 34.5 億ドルを投資して、サフィ地域にりん鉱石採掘及びりん酸塩化学品生産事業を拡大する。計画では、第 1 期は Gantour りん鉱山の設備を更新して、採掘効率を上げる。第 2 期は Essaouira りん鉱山の開発を加速させる。また、120 万トン硫酸製造装置、出力 350 万 KW 発電所、幾つかのりん酸肥料製造ライン及び精密りん酸塩化学品の生産設備を新設する。

- * ベラルーシ通信社の報道によれば、同国の **Belaruskali** 社（ベラルーシ加里）は所属の第2鉱務局に72万トン／年の化成肥料生産ラインを新設する計画、2014年に完成予定。完成後、**Belaruskali** 社は年間96万トンNKP化成肥料、10万トンBB肥料を生産する能力を有する。

- * アメリカ **Koch Nitrogen Company** 社はオクラホマ州 **Enid** 市に尿素生産ラインを新設すると共に現有設備を更新する計画を発表した。新ラインは2014年第4四半期に着工し、2016年完成。現有設備の改造も2014～2016年に行う。総投資額約10億ドル。完了後、**Koch Nitrogen** 社の尿素生産能力が100万トン増加し、国内肥料市場での競争力が一層強くなる。

- * ウズベキスタン新聞によれば、ウズベキスタン南部にある加里肥料工場の建設中の2本目ラインが2014年に稼働開始と発表した。2007年からウズベキスタンが加里鉱山を開発して、塩化加里精製工場を建設、2010年に生産能力20万トン／年の第1生産ラインを完成した。2012年に20.9万トン塩化加里を生産し、中国、インド、スリランカ等に輸出した。第2ラインが完成したら、塩化加里年間生産量が60万トンになる。

その他

- * ブラジル政府はノルウェー**Yara** 社がブラジル **Bunge** 社の化学肥料事業を買収する申請を許可した。買収総額7.5億ドル。今年第3四半期に買収完了予定。